

モロッコ経済日誌 2012年1月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①2011年の貿易収支(暫定数字)¹

輸出入とも増加。輸入額は前年比19.1%、輸出額は13.1%の増加。カバー率(輸出額／輸入額)は前年の50.2%から47.7%へ減少した。観光収入、在外モロッコ人からの海外送金は増加したが、海外直接投資額は大幅減少。

(1)貿易収支全体

	2010年	2011年	推移
輸入額(CAF)	297,963	354,865	19.1%
輸出額(FOB)	149,583	169,153	13.1%
貿易収支	▲ 148,380	▲ 185,713	25.2%
カバー率(輸出額/輸入額)	50.2%	47.7%	

(単位:100万DH)

(2)輸出

燐鉱石関連の輸出が大幅に増加し、全体の38%を占めた。その他の品目では、衣類が増加に転じた。

品目	2010年	2011年	推移(%)
燐鉱石及びその派生品	35,888	47,281	31.7
燐鉱石関連以外	113,695	121,871	0.07

2011年主要輸出品目(単位100万DH)

品目	2010年	割合(%)	2011年	割合(%)	推移(%)
リン酸・肥料など	26,904	18.0	34,789	20.6	29.3
衣類	17,814	11.9	18,148	10.7	1.9
ワイヤハーネス	13,737	9.2	14,334	8.5	4.3
燐鉱石	8,984	6.0	12,492	7.4	39.1
メリヤス類(靴下など)	6,974	4.7	7,363	4.3	5.6

(3)輸入

原油、軽油・重油等のエネルギー関連品目の輸入額が大幅増。

¹ モロッコ為替局ホームページwww.oc.gov.ma, Indicateurs Préliminaires des échanges extérieurs:Décembre 2011

注) 1DH(ディルハム) = 約 9.0 円

2011年主要輸入品目(単位100万DH)

品目	2010年	割合(%)	2011年	割合(%)	推移(%)
軽油・重油	19,575	6.6	32,431	9.1	65.7
原油	25,090	8.4	31,782	9.0	26.7
石油ガス・その他ガス	14,073	4.7	14,949	4.2	6.2
機械類	10,869	3.6	11,572	3.3	6.5
麦	7,397	2.5	10,970	3.1	48.3
化学製品	8,788	2.9	10,615	3.0	20.8
プラスチック材料	8,140	2.7	10,275	2.9	26.2
自家用車	9,501	3.2	9,004	2.5	▲5.2

(4) その他指標: 観光収入, 在外モロッコ人からの海外送金が増加, 海外直接投資額が減少。

	2010年	2011年	推移
観光収入	55, 422	58, 821	4. 3%
在外モロッコ人からの海外送金	54, 387	58, 377	7. 3%
海外からの直接投資	39, 281	25, 546	▲35%

(単位100万DH)

②2011年物価上昇率²

2011年の年間平均の物価上昇率は前年比0. 9%(食料品:1. 3%, 非食料品:0. 6%)

③補助金の推移³

2011年の補助金拠出は520億DHにのぼった見込み。政府予算の23%に相当。補助金のうち416億DHがエネルギーに充当。補助金制度見直しが急務。2012年は420億DHと予測。

2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
124億DH	167億DH	320億DH	133億DH	272億DH	520億DH

④新政権の目標経済指標⁴

19日, ベンキラン首相は目標経済指標を含めた施政方針を両院で発表, 26日衆議院で採択された。これによりベンキラン内閣は国会による信任を受けた形となる。

・経済成長率:5. 5%(任期中 2012 年から 2015 年まで, マニフェストでは7%, モロッコ中央銀行予測値4~5%, モロッコ景気情報センター予測値3. 2%)

・失業率:8%(2016 年まで)

・財政赤字:対GDP比3%

² モロッコ高等計画委員会www.hcp.ma, エコノミスト(1月23日)

³ エコノミスト(1月2日)

⁴ エコノミスト(1月23日), Les Echos(1月23日), ル・マタン(1月27日)

2. 建設・公共事業・インフラ等

①フェズ・メクネス地域上水道整備計画のモハメッド6世国王への説明式典⁵

12日フェズにて、フェズ・メクネス地域上水道整備計画(2012年より2030年)に関するモハメッド6世国王への説明式典が開催された。ファシ・フィフリ水道公社総裁らが説明。

Sebou 川浄水場からフェズ、メクネスに約100キロメートルの導水管を建設し、住民への給水強化を図る。その他、浄水場、ポンプ場を建設。総工費 26 億DH、周辺住民の約230万人が裨益する計画。

(当館注:同計画に対しては、2011年に円借款174億円を供与。式典には柳谷大使、小畑JICA事務所長が出席。)

②ラバトーサレ空港新ターミナルがオープン⁶

20日、ラバトーサレ空港新ターミナル竣工式が、モハメッド6世国王臨席の下で行われた。

年間キャパシティーは現在の50万人から150万人に増加。面積16000m²で総工費は2億8700万DH。

③マロク・テレコム of 海底光ファイバーの強化⁷

モロッコのアシラ(Asilah)とスペインのロタ(Rota)の間に海底光ファイバー187キロメートル「Loukkos ケーブル」を接続する。高速接続インターネットの需要への対応が目的。今後はモロッコからブルキナファソ、マリ、モーリタニアへも接続する(陸路での光ファイバーは工事中)。キャパシティーは80ギガバイト。需要に応じて1280ギガバイトまで増設可能。

総工費は1億4300万DHで2012年3月より稼働開始予定。このほかにも既にアシラーマルセイユ間1634キロメートルの「アトラスケーブル」が接続されている。

④エルジャディーダ下水処理場が完成⁸

23日、エルジャディーダ下水処理場の竣工式が、モハメッド国王6世臨席の下で行われた。総工費は4億4920万DH。処理場は面積2ヘクタール、一日の処理水量は9.5万m³。2030年には住民30万人の生活排水が処理される。

⑤ワリディア下水処理場・浄水場が完成⁹

30日、ワリディア(Oualidia)下水処理場、雨水の浄水場の竣工式が、モハメッド国王6世臨席の下で行われた。総工費は3820万DH。一日の処理水量は2,500m³。住民1万3千人の生活排水が処理される。

⁵ ル・マタン(1月13日)

⁶ ル・マタン(1月21日), エコノミスト(1月24日)

⁷ ル・マタン(1月11日), エコノミスト(1月12日), エコノマップ(1月10日)

⁸ ル・マタン(12月30日)

⁹ ル・マタン(12月30日)

3. 農業・漁業

①小麦の輸入関税を再び一時撤廃¹⁰

2011年10月、小麦確保のため軟質・硬質小麦の輸入関税を12月31日まで一時撤廃を決定していたが、2012年2月29日まで撤廃措置を延長すると決定した。(官報 N-6008 bis, 2012年1月1日)

②2011年の漁業高(11月まで)¹¹

- ・売上高:67億DH(前年比11%増)
- ・漁獲量:84万5726万トン(前年比19%減)

気候、資源確保のための漁獲制限などにより漁業活動(出漁回数など)が前年比で19%減少し、漁獲量の減少に繋がったが、漁獲物価格が上昇したため売上高は増加。特に、タコの価格が1キロ37DHから64DHへ高騰。貝類、エビなどは漁獲量、売上高ともに上昇した。

③モロッコ干魃の恐れ¹²

地方によって異なるが、降水量が少なく、農業成長率の低下が心配されている。

6日、モハメッド6世国王、ベンキラン首相らがラバトのモハメッド5世霊廟で雨乞いのお祈りを行った。

農業・漁業省によると、穀物の種まきを終えた耕作地のうち70%の状態は良好、23%が平均、7%が悪いとしている。しかし、内陸部 Souss-Massa 地方では1月3週目時点での降水量が昨年比で77%の減少、10年間平均の降水量に比して65%の減少となっており、干魃が心配されている。

④点滴灌漑用水システムへの転換¹³

2011年末で灌漑用地140万ヘクタールの20%に相当する29万ヘクタールに点滴灌漑用水システムが整備された。2002年の7%、2007年の11%から大幅上昇。

灌漑用水節約プログラム(2008—2020年)では370億DHを充当し、55万ヘクタールを点滴灌漑システムに移行させる。同プログラムで節約された水は大規模ダム一つ分の貯水量に相当する。

4. 産業・エネルギー

①2011年新車販売台数メーカー別トップ10¹⁴

¹⁰ 官報(1月1日)、モロッコ経済日誌 2011年10月

¹¹ La Vie Echo(1月13日)、Les Echos(1月13日)

¹² エコノミスト(1月9日、19日、23日)、

¹³ La Vie Echo(1月13日)

¹⁴ エコノミスト(1月10日)

2010年の新車販売台総数は112,099台と前年比で8.4%の増加。アジア勢メーカーは全般にダウンした。

順位	メーカー	2011年	市場シェア	推移
自家用車				
1	ダチア	22,324	22.38%	23.82%
2	ルノー	17,778	17.83%	12.38%
3	プジョー	10,329	10.36%	9.92%
4	フォード	5,904	5.92%	24.56%
5	フォルクスワーゲン	5,699	5.71%	7.14%
6	現代	5,313	5.33%	▲4.05%
7	シトロエン	5,160	5.17%	4.12%
8	起亜	4,575	4.59%	▲17.09%
9	フィアット	3,608	3.62%	28.77%
10	トヨタ	2,627	2.63%	▲4.54%
11	その他	16,416	16.46%	—
	合計	99,733	100%	9.45%
軽トラック				
1	トヨタ	2,099	16.97%	▲2.6%
2	三菱	1,664	13.46%	▲7.4%
3	フォード	1,447	11.70%	63.13%
4	ルノー	1,367	11.05%	31.82%
5	現代	1,277	10.33%	15.57%
6	その他	4,512	36.49%	—
	合計	12,366	100%	0.4%
	自家用車と軽トラックの合計	112,099	100%	8.38%

②Zag-Tindouf盆地に天然ガス鉱床の可能性¹⁵

Longreach Oil and Gaz 社は Zag-Tindouf 盆地に大規模な天然ガス鉱床が存在する可能性がある」と発表。同地 Zag 地域の調査権(面積1,616km²)は米国 San Leon Energy 社が有しているが、そのうちの22.5%は Longreach Oil and Gaz 社が権限を保有。発見された地域はアルジェリア Reggane 盆地の近くで、同盆地では2009年に Repsol 社が8,000億m³の天然ガスを発見している。

③風力発電統合計画への関心表明と事前資格審査の受付開始¹⁶

6日、風力発電所建設計画(5箇所、計850MW)の関心表明と事前資格審査の受付が開始された。風力発電計画1000MWのうちすでに150MWに関してはすでに入札のプロセスが開始されている。BOT方式(Build Own Operate Transfer)の官民共同開発プロジェクトでモロッコ側パートナーはモロッコ電力公社(ONE)、エネルギー投資会社(SIE)、ハッサン二世基金となる。

関心表明受付は3月2日10時まで。入札は2012年第二四半期の予定。

¹⁵ Au fait(1月31日), LONGREACH社プレスリリース(1月24日)

¹⁶ モロッコ電力公社ホームページ, www.one.ma, エコノミスト(1月9日)

5. その他

①モハメッド6世国王による新閣僚の任命¹⁷

3日、モハメッド6世国王はラバトの王宮において新内閣の任命式を行った。

なお、閣僚は31名で、前内閣より4名減少した。政党別には、公正と発展党(PJD)12名、イステイクラール党(PI)6名、進歩社会主義党(PPS)4名、人民運動党(MP)4名、無所属5名となっている。女性は1名のみ(連帯・女性・家族・社会開発大臣, PJD)であり、前内閣の5名に比して大幅に減少。

氏名	肩書き	所属政党
M. Abdelilah BENKIRANE アブドゥリラ・ベンキラン	Chef de Gouvernement 首相	PJD
M. Abdellah BAH アブドゥラ・バハ	Ministre d'Etat 国務大臣	PJD
M. Mohand LAENSER モハント・ランセル	Ministre de l'Intérieur 内務大臣	MP
M. Saad-Dine EL OTHMANI サアド・ディン・エル・オトマニ	Ministre des Affaires Etrangères et de la Coopération 外務・協力大臣	PJD
M. El Mustapha RAMID エル・ムスタファ・ラミッド	Ministre de la Justice et des Libertés 法務・自由権大臣	PJD
M. Ahmed TOUFIQ アハメド・トゥフィク	Ministre des Habous et des Affaires Islamiques 永代財産・イスラム宗教大臣	無所属
M. Driss DAHAK ドリス・ダハク	Secrétaire Général du Gouvernement 政府事務総長	無所属
M. Nizar BARAKA ニザール・バラカ	Ministre de l'Economie et des Finances 経済・財政大臣	PI
M. Mohammed Nabil BENABDELLAH モハメッド・ナビル・ベンアブドゥラ	Ministre de l'Habitat, de l'Urbanisme et de la Politique de la ville 住宅政策・都市計画・都市政策大臣	PPS
M. Aziz AKHANNOUCH アジズ・アハヌッシュ	Ministre de l'Agriculture et de la Pêche Maritime 農業・海洋漁業大臣	無所属
M. Mohamed LOUFA モハメッド・ルアフ	Ministre de l'Education Nationale 国家教育大臣	PI
M. Lahcen DAOUDI ラハセン・ダウディ	Ministre de l'Enseignement Supérieur, de la Recherche Scientifique et de la Formation des Cadres 高等教育・科学研究・幹部養成大臣	PJD
M. Mohamed OUZZINE モハメッド・ウジン	Ministre de la Jeunesse et des Sports 青年・スポーツ大臣	MP
M. Aziz REBBAH アジズ・ラバハ	Ministre de l'Équipement et du Transport 設備・運輸大臣	PJD
M. El Houssaine LOUARDI エル・ホセイン・ルアルディ	Ministre de la Santé 保健大臣	PPS
M. Mustapha KHALFI	Ministre de la Communication, Porte-parole du	PJD

¹⁷各紙報道(1月4日)

ムスタファ・ <u>ハルフィ</u>	Gouvernement 情報大臣兼報道官	
M. Fouad DOUIRI フアド・ <u>ドゥイリ</u>	Ministre de l'Energie, des Mines, de l'Eau et de l'Environnement エネルギー・鉱山・水利・環境大臣	PI
M. Abdelouahed SOUHAIL アブデルワヘド・ <u>スハイル</u>	Ministre de l'Emploi et de la Formation Professionnelle 雇用・職業訓練大臣	PPS
M. Abdelkader AMARA アブデルカデル・ <u>アマラ</u>	Ministre de l'Industrie, du Commerce et des Nouvelles Technologies 商工業・新技術大臣	PJD
M. Lahcen HADDAD ラハセン・ <u>ハッダド</u>	Ministre du Tourisme 観光大臣	MP
Mme Bassima HAKKAOUI バッシマ・ <u>ハッカウイ</u>	Ministre du Développement Social, de la Famille et de la Solidarité 連帯・女性・家族・社会開発大臣	PJD
M. Mohamed Amine SBIHI モハメッド・アミン・ <u>スビヒ</u>	Ministre de la Culture 文化大臣	PPS
M. Abdessamad KAYOUH アブデッサマド・ <u>カイウ</u>	Ministre de l'Artisanat 手工芸大臣	PI
M. El Habbib CHOUBANI エル・ハビブ・ <u>シュバニ</u>	Ministre chargé des Relations avec le Parlement et la Société Civile 国会関係・市民社会担当大臣	PJD
M. Abdelatif LOUDIYI アブデラティフ・ <u>ルディ</u>	Ministre délégué auprès du chef de gouvernement chargé de l'Administration de la Défense Nationale 首相付国防管理担当特命大臣	無所属
M. Abdellatif MAZOUZ アブデラティフ・ <u>マアズーズ</u>	Ministre délégué auprès du Chef de Gouvernement chargé des Marocains Résidant à l'Etranger 首相付在外モロッコ人担当特命大臣	PI
M. Charki DRAIS シャルキ・ <u>ドライス</u>	Ministre délégué auprès du ministre de l'Intérieur 内務大臣付特命大臣	無所属
M. Youssef AMRANI ユセフ・ <u>アムラニ</u>	Ministre délégué auprès du Ministre des Affaires Etrangères et de la Coopération 外務・協力大臣付特命大臣	PI
M. Mohamed Najib BOULIF モハメッド・ナジブ・ <u>ブリフ</u>	Ministre délégué auprès du chef de gouvernement chargé des Affaires Générales et de la Gouvernance 首相付総務・ガバナンス担当特命大臣	PJD
M. Abdelaadim GUERROUJ アブデラディム・ <u>ゲルジュ</u>	Ministre délégué auprès du Chef de Gouvernement chargé de la Fonction publique et de la Modernisation de l'Administration 首相付公職・行政近代化担当特命大臣	MP
M. Driss EL AZAMI EL IDRISSE ドリス・ <u>エル・アザミ・エル・イドリッシ</u>	Ministre délégué auprès du Ministre de l'Economie et des Finances chargé du Budget 経済・財政大臣付予算担当特命大臣	PJD

②飲食チェーン店バーガーキングがオープン¹⁸

カサブランカモロッコモールにハンバーガー販売チェーン店バーガーキング 1 号店がオープンした。5年間で 20 店舗を展開する予定。中東・北アフリカ地域 10 カ国で 250 店舗を有す。

③王室SNI社がAttijariwafa銀行持ち株を売却¹⁹

SNI社が Attijariwafa 銀行持ち株をカタール国立銀行に売却することを決定した。取引価格は 150～200 億DHの見込み。モロッコ銀行業にはフランスが参入しているが、カタールも参入することになる。カタール金融機関はそのほかイスラム金融商品の展開を念頭にも入れており、イスラム穏健派PJDが第一党になって以来、モロッコでの中東諸国の動きが注目される。

④2011年の固定・携帯電話、インターネット加入者データ(2011年12月31日付データ)²⁰

携帯電話延べ契約数が3500万台を突破。また、インターネット契約数の増加が顕著。他方、固定電話契約数が減少。

(1) 固定電話契約数:3, 566, 076(前年:3, 749, 364, 前年比:4. 9%減)

マーケットシェア:Wana(64. 59%), Maroc Telecom(34. 79%), Meditel(0. 62%)

(2) 携帯電話契約数:36, 554, 000(前年同期:31, 982, 000, 前年比:14. 3%増)

マーケットシェア:Maroc Telecom(46. 85%), Meditel(32. 92%), Wana(20. 23%)

(3) インターネット契約数:3, 182, 116(前年同期:1, 866, 963, 前年比:70. 4%増)

(接続形態は、3G が81. 41%, ADSL が18. 53%)

マーケットシェア:Maroc Telecom(53. 19%), Wana(18. 33%), Meditel(28. 48%)

⑤2011年《. ma》ドメイン名インターネットサイト数²¹

2011年12月31日付けのmaドメイン名のインターネットサイト数は42, 187サイトと前年比で11. 11%の増加。

⑥2011年モロッコ空港利用者数²²

2011年のモロッコ空港利用者数(のべ数)は1, 169, 639人(前年は1, 235, 009人, 前年比6. 65%の減少)

¹⁸ エコノミスト(1 月 5 日)

¹⁹ Les Echos(1 月 6 日)

²⁰ L'Agence Nationale de Règlementation des Télécommunications(ANRT)ホームページ:ww.anrt.ma, エコノミスト(1 月 27 日)

²¹ オジドゥイ・ル・クマロック(1 月 31 日)

²² La Vie Eco(1 月 27 日)

⑦ラバト動物園が開園²³

13日、ラバト動物園が開園した。敷地面積25ヘクタール、130種、1000頭/匹の動物を有す。3年間の総工費は4.6億DH。年間の維持管理費は5000万DH。年間入場者数は90万人を見込む。アフリカ大陸では南アに次いで第二番目の大きさの動物園。シンガポールの Bernard & Harrison 社が設計した檻の少ない動物園。スポンサーは OCP,BMCE 銀行, Ciments du maroc, Lafarge 社, Maroc Telecom,Eaux de Oulmè。入場料は大人50DH, 子供30H。

²³ Les Echos(1月16日)

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①欧州議会の貿易委員会がモロッコ-EU間農産品自由化を可決²⁴

26日、欧州議会の貿易委員会でモロッコ-EU間段階的農産品自由化(トマトなど6品目は除く)に関し、賛成23, 反対5, 無投票1で可決した。2月15日16日に欧州議会で議論される。

2. 外国企業との関係

①カタールメディアサービスがモロッコに進出²⁵

テレビ局アルジャジーラの株主でもあるカタールメディアコーポレーションが、モロッコでカタールメディアサービス社を設立。資本金は7120万DH。都市部にある街頭の宣伝ポスターの事業に参入する。3m×4mサイズの宣伝パネルは全国で4200パネル。うちカサブランカに54%, ラバトに13%が集中している。モロッコのパネル・ポスターなどの広告業には FCCom, New Publicity などをはじめすでに15社が参入。同社はオーストラリア, ベトナム, 香港, 韓国, マレーシア, 日本などにも進出している。

3. 経済協力

①EUがワルザザート太陽発電所建設に無償援助²⁶

19日、当国バラカ経済・財政大臣と、EU委員会のステファン・フーレEU拡大担当委員は、無償援助に関する協定に署名。総額3700万ユーロの無償援助で、うち3000万ユーロはワルザザート太陽エネルギー発電所建設計画で、700万ユーロは飲料水供給分野への援助。

ワルザザート太陽エネルギー発電所建設に向けたEU各ドナー(EUの近隣国投資ファシリティ: Facilite d'Investissement pour le Voisinage, ヨーロッパ投資銀行(EIB), フランス開発庁(AFD), ドイツ復興金融公庫(KfW))からMasenへの資金供与額は、総額約50億ディルハム(約4億5000万ユーロ)となった。世銀も既に総額約3億ドルの融資を決定している。

Masenバクリ長官は、他の援助も続くであろうと発言するとともに、現在入札が行われている第1フェーズの落札者は1月末までには確定する予定であるが、落札者が創設する発電事業者には、Masenつまりモロッコ政府も25%資本参加すると言及。

②欧州投資銀行がモロッコ送電網強化に向けた借款を検討中²⁷

送電網強化に向けてモロッコ電力公社が欧州投資銀行に16億DH(1億4500万ユーロ)の借款を要請中。送電網に再生可能エネルギー発電所を接続し得よう強化することを目的とする。

²⁴ エコノマップ(1月27日), Les Echos(1月31日)

²⁵ La Vie Eco(1月13日)

²⁶ エコノミスト(1月20日), ル・マタン(1月21日)

²⁷ La Vie Echo(1月6日)

新規に整備される電線は850kmで変圧容量は4600MW(24箇所の変電設備)となる。工期は3年間を予定。同計画は2011年～2016年において1320億DHを投じて5480MWの発電設備を整備するモロッコ電力開発計画の一環。

4. その他

①ベンキラン首相が第42回世界経済フォーラム年次総会「ダボス会議」に出席²⁸

25日～29日までスイスのダボスで開催された、第42回世界経済フォーラム年次総会「ダボス会議」に、ベンキラン首相が出席。首相としては初の外遊となった。(ブリフ首相付総務・ガバナンス担当特命大臣らが同行。)

「アラブの春」後の地域状況をテーマとするセッションでは、イスラム派政党が第一党となったエジプト、チュニジア、モロッコが注目されたが、ベンキラン首相は、「国家の安定、公正さ、透明性のあるガバナンスを目指し、透明性、公正さ、汚職撲滅による機会均等を備えた投資環境を築く」と投資家にアピールした。

²⁸ Les Echos(1月30日), エコノミスト(1月30日)